

～大隅ロケットラウンド～

九州体育・保健体育ネットワーク研究会



鹿児島大隅ラウンド 令和元年12月7日(土) 鹿児島県立鹿屋工業高等学校 選択教室

はじめに・・・

大隅地区では、4回目となる「大隅ロケットラウンド」が鹿屋工業高校で開催されました。鹿屋体育大学の学生を中心に14名に参加いただきました。「南国鹿児島」とは名ばかりの、超絶寒い日の開催でしたが、保健体育への熱い思いが共有された、心温まるラウンドとなりました。主な内容は以下のとおりです。

1 トピックス①：中学校における「保健」「体育理論」の授業の実際

鹿屋体育大学 浜田幸史先生から、中学校での「保健」や「体育理論」の実践について、ワークを取り入れながら、説明していただきました。頭と心をほぐすウォーミングアップから、課題解決型学習、学習指導上の工夫例について、実際の授業で使用された教材も紹介いただきながら、詳しくお話ししていただきました。浜田先生のレベルの高い教授技術が随所に散りばめられたテンポある講義で、参加者もそのお話しにどんどんと引き込まれ、楽しく笑いもありつつも、考えを深めることができた、非常に充実した時間となりました。



2 トピックス②：高等学校における「保健」「体育理論」授業の実際

鹿屋工業高等学校 岡山啓先生より、高等学校の「保健」「体育理論」の実践について、熱い講義をしていただきました。『保健体育の教師は、プロレスラーである』というセンセーショナルな導入から、『プロレスラーの“試合”は、保健体育教師にとっての“授業”である』というまとめまで、首尾一貫したテーマのもと、生徒の心を揺さぶるための授業づくりについて、実際の授業教材をご紹介いただきました。参加した大学生からも「現場にいらっしゃる先生ならではの視点で、このような講義を求めています！」と大好評でした。座学の授業における「主体的・対話的で深い学び」のヒントをたくさん学ぶことができました。



3 学校探検

鹿屋工業高等学校の体育館、倉庫などを見学させていただきました。「保健」の授業で作成された「保健だより」や、選択授業で作成された各種目のPR等の成果物も掲示もあり、授業成果を「見える化」する取組について学びました。

4 おわりに

4回目の大隅ラウンドは、大学生が中心のラウンドとなりましたが、「保健」や「体育理論」の授業づくりについての実践を学ぶ、大変貴重な機会となりました。来年もここ大隅の地から、様々な情報を発信していきたいと思っております。

文責：鹿屋体育大学 梶 ちか子